

令和5年1月17日

芦屋市議会議長 松木 義昭 様

議会運営委員長 福井 利道

議会運営委員会 行政視察報告書

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施しましたので、報告します。

記

- 1 日 程 令和5年1月10日（火）
- 2 視察先及び
視察項目 決算審査と予算審査の連動について（兵庫県尼崎市）
- 3 参加者 委員長 福井 利道
副委員長 ひろせ 久美子
委員 中村 亮介、徳田 直彦
議員 松木 義昭（議長）、青山 暁（副議長）、
浅海 洋一郎（欠席）
随 行 市議会事務局 本宮 健男、富永 新也
- 4 視察報告書 別紙のとおり

以 上

令和4年度 議会運営委員会 行政視察報告書

視 察 日 時	令和5年1月10日（火）13時45分 ～ 15時15分
視 察 先	兵庫県尼崎市議会
視 察 内 容	決算審査と予算審査の連動について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	議会として行政に対するチェック機能をより高め、市民の負託に応える体制を構築するため。
調 査 概 要	<p>○決算・予算の審査方法の見直しの経過</p> <p>尼崎市議会では平成26年から平成28年にかけて議会のあり方検討委員会を立ち上げ、議会における様々な意見を各会派から集約し、検討結果として報告している。その中で決算特別委員会の審査方法を常任委員会と同様の5分科会方式とし、予算審査との連動を提案していた。その後、平成28年の議会運営委員会での確認・協議を経て、平成29年9月定例会から決算及び予算が連動した審査を行うことに決定した。</p> <p>○決算・予算審査の見直しの目的</p> <p>議会においても、市の施策事業を全般的・体系的に捉えるとともに、PDCAサイクルの取組により、決算及び予算が連動した審査を行い、議会としての監視・評価機能を充実させていく必要があるため。</p> <p>○各委員会の役割</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD subgraph "9月定例会" A["決算及び施策評価を 審査し、次年度の予算 編成に向けた執行機関 への提言を行う"] end subgraph "常任委員会" B["現年度の施策・事務事業の進捗状況をチェックする"] end subgraph "2月定例会" C["決算特別委員会における 提言の予算への反映状況 を確認し、次年度予算の 審査を行う"] end A --> B B --> C C --> A </pre> </div> <p>○委員会・分科会の構成</p> <p>決算特別委員会は監査委員を除く全議員、予算特別委員会は全議員で構成する。委員構成は常任委員会と同様とし、5分科会で運営される。</p> <p>各分科会の会長・副会長には、各常任委員会の委員長・副委員長を選任する。これは、本市議会における分科会の座長・副座長の関係と同じである。また、委員長は分科会審査に加わらない。議員数も関係すると考えられるが、この点は本市議会と違うところである。</p>

	<p>○決算審査</p> <p>会派勉強会として1会派につき半日(3時間)で決算及び施策評価の全体的な説明及び質疑を行う。また、他の常任委員会付託案件と同様に、事前説明において詳細を確認する。この点は本市議会と大きな違いがあり、議会風土の違いを感じた。事前審査の考え方を考慮しながら議員と当局の意図の確認がなされており、委員会での意見の食い違いが未然に防げ、円滑な委員会質疑と運営に繋がっている。</p> <p>分科会審査では、それぞれの所管する事務事業を中心として、関係法規に対する適合関係や計数的正誤等の審査に加え、その成果や課題についても検討している。</p> <p>分科会審査後に総括質疑と意見表明・意見決定を行っている。総括質疑は、施策体系を踏まえた決算の評価を行い、予算へ反映させる観点から行う。意見表明については、総括質疑を踏まえ、各会派で意見をまとめ、決算特別委員会最終日の全体会議で行っている。これは本市議会の決算に対する会派討論にほぼ当たると考える。しかし、ここから会派意見を取りまとめる必要がある場合は、役員会において協議・調整の上、全会一致で委員会意見を決定し、委員長報告に盛り込んでいる。この意見については閉会后に当局に文書で送付し、回答を求め、予算議会で活用されている。また、意見の一致しない点は、会派要望として各会派から直接当局に対し任意で行っているようであった。この取組により、各会派からの要望は減少しているとの報告もあった。</p> <p>○予算審査</p> <p>予算特別委員会は、基本的に決算特別委員会と同様の審査方法で行われているが、事前の会派勉強会は1会派につき1日を割り当てており、決算とは相違がある。また、意見表明・意見決定に対しての回答は求めている。つまり、決算審査後の委員会としての意見に重きを置いており、予算審査時においてその意見の反映が確認できる仕組みである。</p> <p>○予算審査と決算審査の改善</p> <p>議会の取組として進めてきた決算審査・予算審査の連動であるが、平成30年度の決算審査から早速に見直しが見直しがされており、分科会での審査結果の総括質疑や委員会意見への反映において、分科会の役割を十分に発揮させるため、委員間協議を活発に行い、分科会での重要事項を整理する等の対応を行っている。</p>
<p>所 感 (意見・感想・今後の課題等)</p>	<p>事前にホームページ等での情報収集を行い、視察先を決定したが、その内容以上に議会としてしっかり取り組まれており、その議会の決定に対し行政がしっかり応えている様子が確認できたとともに、実際に運営されている議員と事務局の熱意を肌で感じ、実際に現地で視察することの大切さもコロナで控えていた期間を顧みて認識できた。</p> <p>上記の調査概要でも述べたが、議会の歴史に裏打ちされた風土があり、本市議会との違いを感じることができた。しかしながら、市民からの負託に少しでも応えるためには、何ができるかを考え、行動するのは同じであり、本市議会に足りないものは他市議会から取り入れ、また誇れるものは、更に磨きをかける。その認識を再度確認できた視察であったと思う。</p>

視察の様子（令和4年度 議会運営委員会）

視 察 先

1 月 1 0 日
兵 庫 県 尼 崎 市



尼崎市役所を
訪問しました。



議事課の職員の方
にご説明いた
だきました。

※この「視察の様子」のページは市議会事務局職員が作成しています。